

議事要点

会議名称	令和6年度 第1回立川市国民健康保険運営協議会
開催日時	令和6年5月21日（火） 午後1時30分～午後3時00分
開催場所	立川市役所 302 会議室
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 人事異動について 2 令和6年度特別会計国民健康保険事業予算について 3 東京都国民健康保険運営方針について 4 その他
配布資料	<p>【資料】</p> <p>資料1 令和6年度立川市組織図（抜粋）</p> <p>資料2 令和6年度特別会計国民健康保険事業予算及び事項別明細書</p> <p>資料3 東京都国民健康保険運営方針</p> <p>資料4 立川市国民健康保険運営協議会令和6年度開催スケジュール 立川の国保 No.80</p>
出席者	<p>[委員]</p> <p>被保険者代表（4名） 田尻 隆子 西村 徳雄 宮本 直樹 山田 廣幸</p> <p>保険医及び保険薬剤師代表（3名） 多森 芳樹 平田 俊吉 石原 一生</p> <p>公益代表（5名） 頭山 太郎 山本 みちよ 浅川 修一 黒川 重夫 木村 辰幸</p> <p>被用者保険等保険者代表（2名） 藤田 美奈子 大塚 智廣</p> <p>[事務局]</p> <p>副市長 近藤 忠信 保健医療部長 浅見 知明 保険年金課長 横田 昌彦 財政課長 徳丸 祐豪 収納課長 葉袋 正人 保険年金課業務係長 小安 裕史 保険年金課医療給付係長 熊谷 由希雄 保険年金課賦課係長 高橋 定洋 保険年金課業務係 加藤 亜美</p>
公開及び非公開	公開
傍聴者数	1人
会議結果	<ol style="list-style-type: none"> 1 人事異動について 人事異動について報告。 2 令和6年度特別会計国民健康保険事業予算について 予算書及び事項別明細書を用いて今年度の予算編成について説明。

歳出の保険給付費の高額療養費は対前年比で予算が減っているが、要因があれば教えていただきたいという質問に対し、過去数年の伸び率より推計しており、立川市の実績に基づき予算を組んでいると回答。

3 東京都国民健康保険運営方針について

資料3 東京都国民健康保険運営方針について、立川市との比較を交えながら説明。

昨年度、市長会として東京都に対して、納付金の算定も含めてさらなる緩和措置や都独自の財政支援を求めてきていると思うが、この方針に反映されているかという質問に対し、反映されていないと回答。国保の被保険者数は団塊の世代の後期高齢者医療制度への移行、社会保険の適用拡大の影響で減少している厳しい状況の中で、財政健全化を図っていく。東京都や国のほうに各市の厳しい財政状況というのを訴え続け、さらなる補助の拡大を求めていかなければいけないと回答した。

立川における一体的運営や統一の方針へ向けての懸念事項はあるかという質問に対し、健診の受診率が低いことであると回答。令和5年度から、特定健診の受診勧奨事業として成果連動型で受診勧奨通知を送付しており、最終的な数値は現在未確定だが、去年の受診率と比べて上がってきている。こういった市の新しい取組を継続して続けていくと回答した。

人間ドックの補助を申請しないで自費で人間ドックを受けた人は把握しているのかという質問に対し、全額自費で受けた方については、把握する方法がない。引き続き補助制度の広報に努めていきたいと回答。

4 その他

立川の国保№80 について説明。健康保険証が廃止され、マイナンバーカードと保険証を一体化した『マイナ保険証』に一本化されることを説明。12月2日以降は従来の保険証の新規発行のほうを終了するが、改正法の経過措置で、廃止されてからでも最長で1年間、現行の保険証は引き続き使用が可能。今後、保険証の有効期限が切れてしまった場合、マイナ保険証を持っていない方には資格確認書を交付する。

令和6年度の保険料について説明。保険料率、所得割、均等割は、昨年度から据置き、賦課限度額は後期高齢者支援金分のみ21万円に引き上げた。未就学児の保険料（均等割額）について、全額無料となった。産前産後期間の保険料の軽減が国制度として令和6年1月から始まり、出産する方の4か月相当分（多胎妊娠の場合は6か月分）を免除する。

マイナンバーカードの保険証について、医療機関の現場ではマイナンバーカードの資格確認ができない場合があり、マイナンバーカードに一本化されることに不安を覚えているが、立川市で、医療機関の現場からの資格確認の問合せは結構あるのかという質問に対し、日に数件あると回答した。

	次回運営協議会は7月10日水曜日、場所は208・209会議室で開催を予定。
担当	保健医療部保険年金課 電話 042-528-4314